

ある知人の牧師からこんな話を聞きました。終末期の病を負ったご主人がいる奥様から、病院に来て欲しいと頼まれたのだそうです。そのご主人は立派な社会経験を積まれた方で、自分は死を恐れてなどいない、と言いました。それゆえ、でしょうか。牧師から、人類を罪から救う救い主がいるんですよ、と聞いても、どこ吹く風だったそうです。そこで、その牧師は聞き方を変え、こう尋ねたそうです。「Aさん。あなたは、今までの人生で後悔したことはありましたか？」と。今度は即座に答えが返ってきました。「もちろん、あります。人間ですから」。そこで牧師はさらに続けました。「では、どうして人は後悔を感じるのでしょうかね。Aさんは、なぜだと思われますか？」。

その問いの後、長い沈黙があったと言います。

そこで牧師はこう問いかけました。「Aさん。あなたの中に後悔を感じることがあるということは、自分ではどうにもならない、何らかの問題がある、ということではありませんか」と。この問いに、Aさんは答えました。「確かにそうです。そういう面がありますね」。Aさんは、社会的に見れば、大変立派な歩みをしてこられた方でした。「自分は人様から後ろ指を指されるようなことは、何もしていない。真面目に生きてきた」。それがAさんの誇りでした。しかし、そんなAさんでも、人生の終わりを前にして振り返ったとき、「後悔」を感じることが、一つや二つではなくて、いくつもあったのです。そしてAさんは、その原因となるものは他人の中ではなく、自分自身の中に確かに存在していることを意識し始めたのです。この時から、Aさんの人生は変わっていきました。

「後悔」をするということは、「ああすればよかったのに、それができなかった」ということです。「正しい道は何

だったのか。後から分かったけれども、その時は見えなくなっていた」ということです。人生には誰にも、そのようなときがあります。そして、失った時間や人や可能性を振り返っては、心に深い痛みを感じるのです。私たちはそれを「自業自得だ」とか、「仕方が無い」ということばで、忘れようとしめます。しかし、なかなか上手いきません。Aさんのように、最期まで抱える人も多いのです。聖書は、このような問題に悩む私たちに対して、次のように語りかけています。

「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。—主の御告げ—それはわざわざではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」(エレミヤ書29章11節)

私たちの人生に起きたことは全てが神の計画のうちにあり、神はそれらを用いて私たちに希望を与えて下さることができる。そう語っているのです。ままならない人生に、意味を与えて下さるのです。さらに、こうも書かれています。

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」(イザヤ書43章4節)

クリスマスは、この神の愛が、具体的なかたちを取って現れたときです。あなたもぜひ、この神様の愛に心を開いて、新しい人生へと一步、踏み出してみませんか。

古川福音自由教会牧師 門谷信愛希

クリスマス礼拝

2017年12月24日(日)

礼拝 10:00より 祝会 12:00より

イエス・キリストの誕生を祝う礼拝です。パイプオルガンの静かな調べと、聖書からの神の愛のメッセージがあります。終了後は、おいしい食事を囲んでお祝いの会を行います。ビンゴ大会やゲーム、歌、プレゼント交換など、楽しいプログラムが目白押しです。はじめての方も歓迎いたします！

こひつじクラス クリスマス会

2017年12月13日(水) 10:30より

幼稚園入園前のお子さんとお母さんのためのナーサリークラスです。当日はクリスマススペシャルとして、お食事会を行います。もちろんお歌、リトミック、絵本読み聞かせもあります。

【駐車場】教会前が無料駐車場になっていますので、お車でのご来場もお気軽にどうぞ。教会への地図は裏面をご参照下さい。

【お子様】小さいお子様をお連れの方でも安心してご出席頂ける「母子室」をご用意しております。

お問い合わせ

☎ 0229 - 24 - 6939

🌐 <https://furukawaefc.com>

✉ kyoukai@furukawaefc.com



あなたの街の、あなたの教会

古川福音自由教会

